

第6回 インフルエンザ特集号（前編）

☆今年度の調査を実施中です。 郵送されております調査票にぜひご回答下さい！

■■===== 2011/12/01 発行=====■■■

本号の主な内容

【小児科医コラム】 今年のインフルエンザについて（前編）

.....
〈事務局から〉
みなさんこんにちは。
東京大学 ワーク・ライフ・バランス(WLB)と健康に関する調査」事務局です。
今回から、初めてメールマガジンが配信される地域の方もいらっしゃると思います。
今後とも「ワーク・ライフ・バランスと健康に関する調査」をよろしくお願い致します。

今回はインフルエンザの流行シーズンを前に、
インフルエンザ特集号をお送り致します。是非お役立てください。

【今年度の調査のお知らせ】
現在、2011年度の調査を実施中です。
すでに、毎日みなさまにお答えいただいた調査票が届いて来ております。
たいへんありがとうございます。
今年も、是非ご協力をお願い致します！

【 Dr. 伊藤のすこやかコラム： 特集： 今年のインフルエンザについて（前編）】

いよいよ今年もインフルエンザの時期が来てしまいました。
この特集号を読んで、しっかり対策して冬を乗り切りましょう！

【11月中旬現在の流行状況 ピークは1月から？】
全国のインフルエンザ流行状況を監視している国立感染症研究所の報告では、
10月ごろから山口県や茨城県、横浜市などいくつかの地域で小さな流行があるようです。
都内では10月下旬に練馬区の小学校で学年閉鎖が1校ありましたが、流行の拡大は見られません。
このままいけば流行のピークは例年通り1月~2月ごろと予想されますが、
ただ寒暖の差が激しい最近の天気では、
いつ流行が始まってもおかしくないので油断はできません。

【インフルエンザウイルスと、インフルエンザ菌】
インフルエンザは、インフルエンザウイルスによって感染します。
赤ちゃんがいるご家庭ではお子さんに Hib（ヒブ）ワクチンを接種したと思いますが、
あれは「インフルエンザ菌」の予防接種で、インフルエンザウイルスの予防接種ではないです！
紛らわしいですが、まったく違うバイ菌ですので区別してください。

【ウイルスの種類 大きく2種類】
インフルエンザウイルスは1種類ではなく、
大きくA型とB型に分かれ、さらに細かく分かります。
例えば、2年前に大流行した新型インフルエンザは「A (H1N1)」という種類です。
ワクチンは、夏ごろに厚生労働省が翌シーズン流行しそうなウイルスの種類を予想し、
それを受けて各メーカーがワクチンの製造を開始します。
今シーズンは昨年と同じ3種類のウイルスの流行が予想されています。
ちなみに、2年前の新型インフルエンザは昨年からの通常のワクチンに含まれています。

【ワクチン、子どもは量が変更！】
さて、今シーズンから小児のワクチン接種量が変更になりました！
昨年までは諸外国と比べて日本だけ子どもの接種量が少なかったのですが、
「接種量が少ないせいで、予防効果が小さいんじゃないか!？」という批判があり、
WHOの推奨する標準的な接種量に今年から改訂されました。
この変更で、
生後6カ月~2歳・・・1回0.25ml、2回接種
3歳~12歳・・・1回0.5ml、2回接種
13歳以上・・・1回0.5ml、1回接種
となりました。2回接種の場合、約4週間あけると効果の面で理想的ですが、

Fax : 03-5841-3392 (精神保健学分野)

E-mail : wlb-project@umin.ac.jp

URL : <http://wlb.umin.jp/>

